

# 岡崎教区通信

発行／真宗大谷派岡崎教務所  
444-0031 岡崎市梅園町 1-1-2  
TEL 0564-22-2136  
FAX 0564-22-6472

e-mail [okazaki@higashihonganji.or.jp](mailto:okazaki@higashihonganji.or.jp)  
HP <http://www.okazaki-kyoku.net/>

## ● 令和6年能登半島地震について

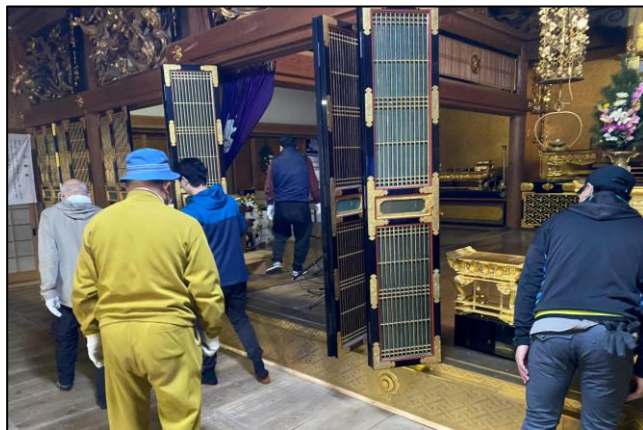
宗派では、現在も引き続きボランティアを行っています。

直近では家具・仏具の搬出のお手伝いや、昨年の豪雨災害で土砂が詰まって用をなさなくなっていた側溝の泥かきが行われました。また、カフェや炊き出しのほか腕輪念珠作りも行われ、世代を超えて楽しく交流されました。

教区では、本紙3月号にチラシを同封しましたとおり、4月30日から5月2日にかけて、災害ボランティア（金沢駅集合・解散）を予定しております。今回は主に、被災寺院のお手伝いをさせていただく予定です。

教区では引き続き、能登半島地震や能登地方集中豪雨をはじめとする激甚災害に見舞われた方々への救援金を勧募しています。

皆様におかれましては、なお一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。



### 本山 救援金口座

郵便振替口座番号 00920-3-203053

加入者名 真宗大谷派

※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。

### 岡崎教区 救援金口座

岡崎信用金庫 伝馬支店 普通

口座番号 9028718

口座名義 宗教法人真宗大谷派 岡崎教務所 所長 錦 秀見

※振込の場合は、お手数ですが事前に教務所までご一報をお願いするとともに、振込元には、6桁の寺院教会番号を頭に付してください。

※郵便振替での入金をご希望の場合は教務所主計までご相談ください。

宗派HP 宗派災害情報X ボランティア  
支援センター



令和6年能登半島地震救援金 総額 15,578,531円（3月26日現在）

うち、1,000万円は宗派救援金口座へ送金いたしました。

## ● 法語カレンダーの仕様の変更及び頒布価格の改定について

真宗教団連合では、1973（昭和48）年、親鸞聖人御誕生800年と立教開宗750年を記念して法語カレンダーの第1号を発行して以来、本カレンダーが多くの方々にとって日々の暮らしの中でお念仏を申すご縁となることを願い、現在に至るまで発行を継続しています。

このたび、カレンダー上部の留め具として長らく使用してまいりました「金具」につきまして、2026年版以降、環境問題等への配慮の観点から素材を「紙製」に変更することとなりました。

また、上記仕様の変更に合わせて、昨今、世界的な問題となっている物価高騰に伴う原材料価格や運送費用等の上昇の影響を受け、頒布価格を下記のとおり改定することとなりました。

### 2026年版以降の法語カレンダーについて

#### 【仕様変更について】

- ①カレンダー上部の留め具を「金具」から「紙製」に変更する。
- ②掛け紐を廃止し、留め具（紙製）の中央に壁掛け用の穴を開ける。
- ③全頁に切り取り用のミシン目を入れる。

|      | 改定前<br>（～2025年版） | 改定後<br>（2026年版～） |
|------|------------------|------------------|
| 頒布価格 | 150円（税込）         | <u>160円（税別）</u>  |

## ● 4月及び5月の教化事業・研修会 ※会場の記載がないものは全て教区会館

### 【教区教化事業】

#### ①「伝道研修会」【教師陞補対象研修】

日時 4月 9日（水）13:30～17:30

4月10日（木）10:00～12:00

講師 難波 教行 氏（教学研究所所員）

テーマ 「生き方」と「すくい」

備考 ①教師陞補には両日参加が必須です。

②詳細は本紙3月号同封のチラシをご参照ください。

#### ②「公開学習会」【教師陞補対象研修】

日時 4月14日（月）14:00～16:00

講師 織田 顕祐 氏（教学研究所長）

テーマ 「佐々木月樵における“学び方”の転換」

ー佐々木月樵没後百年 第1回記念講演ー

備考 詳細は本紙3月号同封のチラシをご参照ください。

#### ③「令和6年能登半島地震災害ボランティア」

期間 4月30日（水）～5月2日（金）

定員 10名

備考 詳細は本紙3月号同封のチラシをご参照ください。

### 【その他研修会】

#### ①同朋の会を推進する会「春の法要奉仕団」

期間 4月1日（火）～3日（木）

会場 真宗本廟

#### ②真宗学院同窓会「総会・講演・懇談会」

日時 4月2日（水）

総 会：14:00～14:40

講演会：14:50～15:30

懇談会：15:40～17:00

講師 織田 顕祐 氏（教学研究所長）

#### ③教区児童教化連盟「花まつり」

日時 4月4日（金）14:00～16:30

内容 灌仏やパネルシアター、劇団「そらのゆめ」による舞台劇上演。

備考 詳細は本紙3月号同封のチラシをご参照ください。

#### ④声明研究会「声明講習会」

日時 4月15日（火）14:00～16:00

講師 教区准堂衆会

内容 参加者の希望に応じて決定。

#### ⑤同朋の会を推進する会「親鸞教室」

日時 4月22日（火）13:30～15:30

講師 畝部 真紀 氏（第23組願成寺住職）

テーマ 「みんなで読もう『仏説阿弥陀経』」

備考 詳細は教務所までお問い合わせください。

#### ⑥声明研究会「第2回公開講習会」

日時 5月14日（水）14:00～16:00

講師 村上奈津子 氏（大阪教区超願寺住職）

テーマ 「声明のための発声法」

備考 詳細は本紙3月号同封のチラシをご参照ください。

## ⑦教区坊守会「若坊守研修会」

日時 5月20日（火）10:00～12:00

講師 ジェシー・釋萌海 氏（京都教区高福寺住職）

テーマ 「涙の出るようなご縁に出遭わないと  
仏法は響かない」

## ⑧同朋の会を推進する会「親鸞教室」

日時 5月20日（火）13:30～15:30

講師 畝部 真紀 氏（第23組願成寺住職）

テーマ 「みんなで読もう『仏説阿弥陀経』」

備考 詳細は教務所までお問い合わせください。

## ⑨教区教誨師会「一泊研修会」

日時 5月26日（月）～27日（火）

講師 村上 結美 氏

（株式会社コウエイ物流代表取締役）

会場 「和のリゾートはづ」会議室



## ● 出版物のご紹介

## 『生まれる 生きる 生かされる』

編集：真宗大谷派学校連合会教科書編纂委員会

定価：1,100円（1,000円＋税10%、寺院割引有）

内容：真宗大谷派関係学校の中学宗教教科書として、仏教を「私を映し出す鏡」としていただき「ほんとうの自分に出会う」学びをすることを願いとして作成された。全体を「生まれる」「生きる」「生かされる」の3部に分け、歴史上の人物や現代の著名人の言葉や生き方が紹介され、随所に出てくる「聞・問・開」という問いかけによって、それぞれのテーマについて考えることができる。

お寺における学習会や輪読会のテキストとしてもご活用ください。



## ● 人事異動について

このたび、人事発令がありましたので報告します。

岡崎教区駐在教導 寺西 賢静 願により役務を免じます（2025年2月28日付）

大垣教区駐在教導 野々山祥寛 岡崎教区駐在教導に任命します（2025年3月1日付）

## ● 教務所事務休止について ※再掲

このたび、下記のとおり教務所事務休止とさせていただきます。

2025年5月15日（木）～16日（金）【教務所員研修のため】

※5月19日（月）から、通常通り事務取扱いをいたします。

※教務所事務休止中に住職、寺族及び門徒（責任役員、総代、組門徒会員）がお亡くなりになられた場合は組長にご連絡いただき弔詞及び御香を受領ください。後日、教務所より必要書類を送付いたします。

※住職及び前住職の死亡時には生前論功が追贈されますので、必ず下記の緊急連絡先までご連絡ください。

【緊急連絡先】 070-1636-1128（教務所スマートフォン）

## 慶事

謹んで御法要の盛儀をお慶びいたします。

高岡組 願誓寺 殿

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要  
本堂修復落慶法要

（2025年3月29日～30日 勤修）



f b



HP

### 豊橋別院報徳会勤修のご案内

期 間：2025年4月19日（土）～21日（月）  
 法 要：各日10時30分、13時  
 法 話：18日、19日及び20日の11時と、13時の法要後  
       4/19（土）榑野 明仁 氏（第11組 本澄寺住職）  
       20（日）伊奈 恵祐 氏（第8組 安樂寺住職）  
       21（月）田代 俊孝 氏（仁愛大学学長）  
 ※19日法話後、「報徳会コンサート」。  
 黒澤博幸氏による津軽三味線が演奏されます。

※本紙3月号にて掲載の期日に一部誤植がありました。  
 お詫びして訂正いたします。

### 三河別院蓮如忌勤修のご案内

期 間：2025年4月23日（水）～25日（金）  
 法 要：各日13時 ※25日は12時30分  
 法 話：法要後  
       4/23（水）華埜井 究 氏（松平組 専光寺住職）  
       24（木）渡邊 尚子 氏（第25組 守綱寺前坊守）  
       25（金）佐々木 宣祐 氏（第18組 上宮寺住職）



### 【岡崎教区LINE公式アカウント】

教区内の慶弔や教化委員会の事業案内、各別院の諸法要をはじめ、  
 災害情報の共有、教務所閉所日などを発信いたします。  
 ぜひご登録ください！



## ● 教務所ビオトープ通信

教務所のビオトープでは、植物や生き物をお迎えしてから約1ヵ月が経過し、徐々に暖かい日が増えスイレンの新芽が顔を出し始めてきました。

ビオトープといえば人工池やスイレン鉢等に水草や生き物が生息する環境をイメージされる方が多いのではないのでしょうか。

ビオトープ (Biotope) の語源は、ドイツ語の「生物 (Bio)」と「空間 (Tope)」が組み合わさった言葉であり、生物の生息・生育空間そのものを表す言葉です。1970年代頃からドイツで、地域に残る環境（水辺・森林・湿地帯等）の管理や保全を行うところからビオトープの歴史は始まりました。

日本では1980年代後半頃から全国各地の学校や公園等で小さな水辺空間や池に植物や生き物が泳ぐ環境が整備され、徐々にビオトープとして普及されていきました。そのため、日本でビオトープといえば人工池やスイレン鉢にメダカ等を泳がせるイメージとして定着していますが、本来的にいえば森林・湿地帯・ため池、人工的な街路樹等も生物の空間を表現するビオトープであり、私たちの暮らしに密接に関わっています。

昨今の森林伐採や生き物の乱獲をはじめ、日々加速する地球規模の環境破壊に思いを馳せることも大切な視点ですが、私たちの身近にある何気ない自然に目を向けてみることで新たな発見があるかもしれません。

